



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

95.4.28 4181

10年目の節目を迎える 95夏季物販

水野・中江選対勝利をステップに、当面の闘いに起す
会議は協販部・岩井君の司会で始まり、冒頭、本部長が、「今次統一地方選では、

四月二五物販担当者会議開催
四月二五日、動力車会館において全支部物販担当者会議が行なわれた。
集まった各支部の物販担当者には、四月二三日に投票された、今次統一地方選挙における勝浦・水野、船橋・中江選挙闘争の勝利を、自らの手で獲得したことを実感させる表情にあふれるものがあった。



▲ 水野・中江選挙勝利を引きつぎ、連休明けから全国オルグへ！
(4月25日 動力車会館)

組織をかけた選挙闘争に勝利した。昨年の大会決定により、船橋に続き勝浦において水野執行委員を擁立するという初の組織選挙に、六位、高位当選を勝ちとったことは、勝浦・いすみ支部として勝浦出身者の奮闘によって、動労千葉の面目を維持し、施したと言える。又、船橋では一〇%投票率が下がっている中で、得票数を上げるなど動労千葉の団結力を誇示できたと確信する。この勝利をステップとして、当面の課題である、①、勝浦運転区統廃合問題、②、直営売店の委託—強制配転者の原職奪還問題、③、貨物問題、などの闘争に突入していく。この闘いは夏季物販の渦中において、

反合・運転保安闘争との結合を生みだすものとなる。九五年一戦後五〇年、予想を上回ることで続々と発生している。阪神大震災、円七〇円台への突入—資本主義経済そのものの崩壊は、警察国家化の様相を呈している。争議団の闘いの中で驚異的ともいえる闘いを維持してきた。物販闘争は単に生活基盤の確立のみでなく、労働者の闘いの結合を、威力として示すものとなっている」とあいさつを行なった。

全国にはばたこう運動に拍車をかける九五夏季物販闘争!
続いて、協販部・白井部長より、九四年度の物販実績、総括と今後の方向性が打ち出され、九五夏季物販の方針・目標が全体で確認された。
とりわけ、「今年は物販闘争を始めてから、一〇年目の年であり、節目の年となった。勝浦・水野、船橋・中江選挙闘争の勝利という、夏季物販闘争を前にして全国にはばたこう運動がまたひとつ結実した。さらにこの運動を飛躍させ、切り拓くことができるように新たな気構えで、連休明けからの全国物販闘争へ、全支部・全組合員の決起をお願いしたい」という概要に、集まった担当者のすべてが、大きく頷いたのだった。

※確立された方針
夏の物販を成功させ、八・一五集会・「被災支援連」運動そして十一月労働者集会を成功させよう！
夏季物販目標金額二六〇〇万円を達成しよう！

